

教職の魅力

樋渡 美千代（山形県教育センター副所長）

1. 教師という仕事

毎回この「プラットフォーム会議」への参加を楽しみにしています。というのも、委員のみなさんと一緒に「教師」という仕事の魅力について考えるこの場は、これまで教職に携わってきた私にとっての貴重な学びの場になっているからです。

教師という仕事は、日々何かに追われ、頑張っても報われないことも多く、充実感を味わうことができるのはほんの一瞬だったりすることも多いと感じています。「教師はどういう仕事ですか？」と問われ「やりがいのあるすばらしい仕事です」と即答できる教師はどのくらいいるでしょう。おそらくそう答えたくとも、即答できない人の方が多いのではないのでしょうか。私もその1人です。しかし、教師の仕事は、決してつらいことばかりではありません。何にも代えられない魅力があります。このことは、教師であれば、皆が感じていることだと思います。

2. このプロジェクトの魅力

「小学校教員体験セミナー」では、高校生が実際に小学校教員を体験し、小学生の好奇心あふれる学びの姿に触れたり、子どもの成長を心の底から喜ぶ教師の姿に触れたりすることで教師の仕事の魅力を感じることができます。「聞き書きプロジェクト」では、大学生や院生が実際の教師に「教師という仕事」についてインタビューすることで、これまで自分たちには見えなかった教師の一面に触れ、その仕事の奥深さを感じることができます。「学びのフォーラム」では、高校生、大学生、院生、そして社会人が「そもそも学ぶとは」という問いに対する答えを探そうと、佐伯胖さんの本を読み議論することで、学ぶことの意義を再考することができます。

これらの体験は、その活動一つ一つに大きな意義と魅力があります。しかし、このプロジェクトの最大の魅力は、高校生にとっても大学生や院生にとっても、教師にとっても、「教職」についてともに考えたり議論したりすること、そのこと自体にあるのではないかと考えます。これまで考えたこともなかった視点からの意見や場面との出会い、背伸びして全力で自分の考えを絞り出しなんとか言語化しようとする経験、自分の考えが引き出されそれをおもしろがって聴いてもらえる経験、これらすべてが、参加者全てにとって心地よい学びの場となっているのではないかと思います。

3. このプロジェクトに期待すること

「日々大変だけど、こんな小さなことに喜びを感じる」という教師の語りはとても魅力的です。高校生や大学生、大学院生を引き付けるのも、そんな語りなのではないのでしょうか。こういう語りができる教師を私はたくさん知っています。

今後もたくさんの高校生、大学生、院生の参加に期待し、一人でも多くの方に、教師という仕事の魅力を感じてほしいと思います。また、たくさんの教師にも参加してもらい、教師という仕事の魅力を再認識する機会にいただければと願っています。